

捕獲鳥獣の利活用について

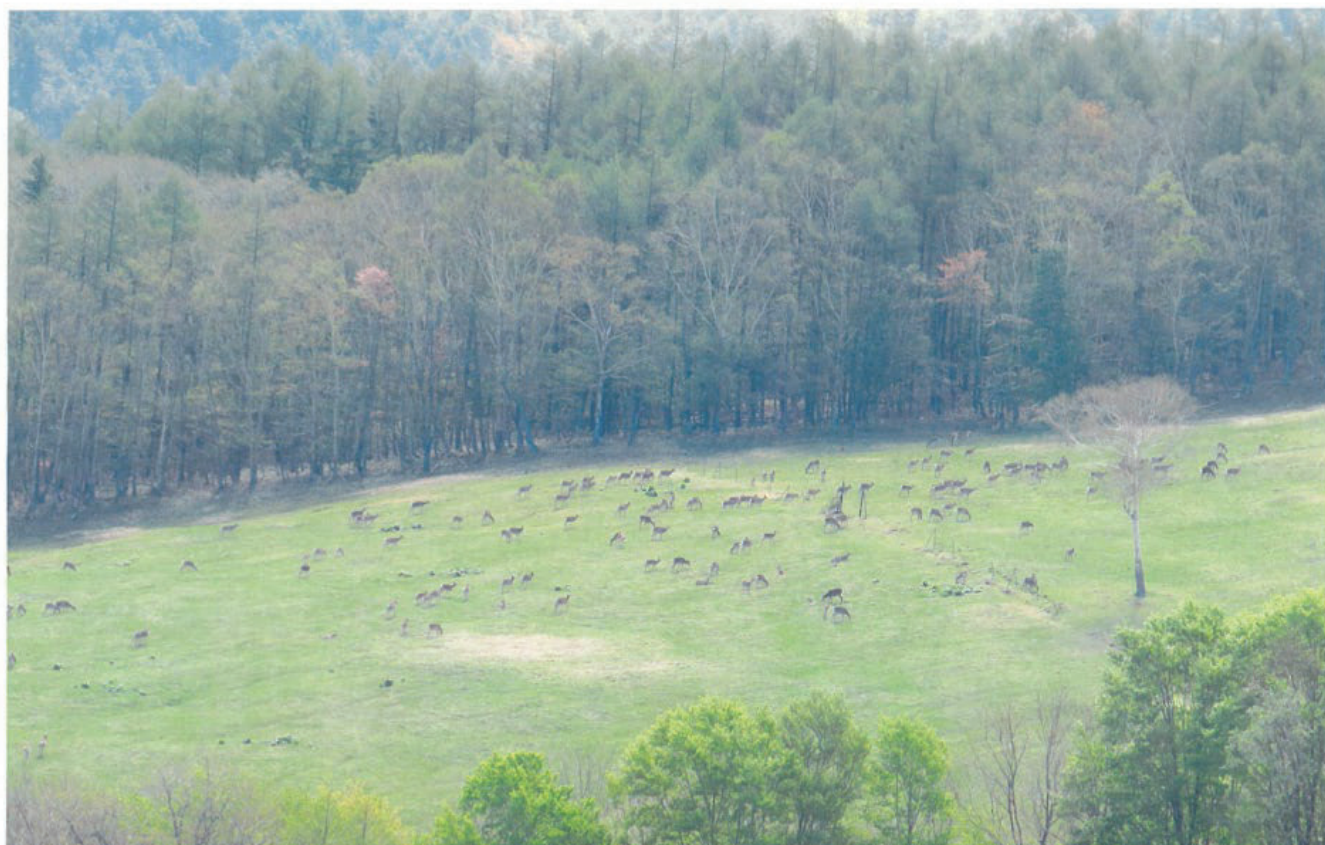
令和3年5月

農林水産省 農村振興局

鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室

野生鳥獣による農作物被害

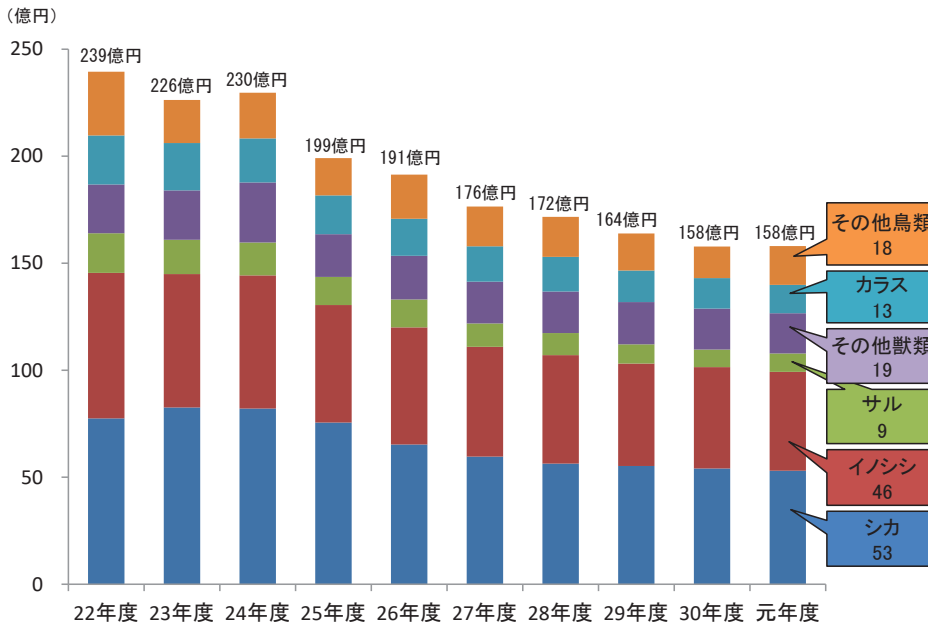
爆発的に増加する野生鳥獣（放牧地の状況）



野生鳥獣による農作物被害額の推移

- 野生鳥獣による農作物被害額は158億円(令和元年度)。全体の約7割がシカ、イノシシ、サル。
- 森林の被害面積は全国で年間約5千ha(令和元年度)で、このうちシカによる被害が約7割を占める。
- 水産被害としては、河川・湖沼ではカワウによるアユ等の捕食、海面ではトドによる漁具の破損等が深刻。
- 鳥獣被害は営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加、さらには森林の下層植生の消失等による土壌流出、希少植物の食害、車両との衝突事故等の被害ももたらしており、被害額として数字に表れる以上に農山漁村に深刻な影響を及ぼしている。

＜農作物被害額の推移＞



農作物被害



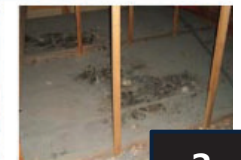
車両との衝突事故



住宅地への侵入



家屋の糞尿被害

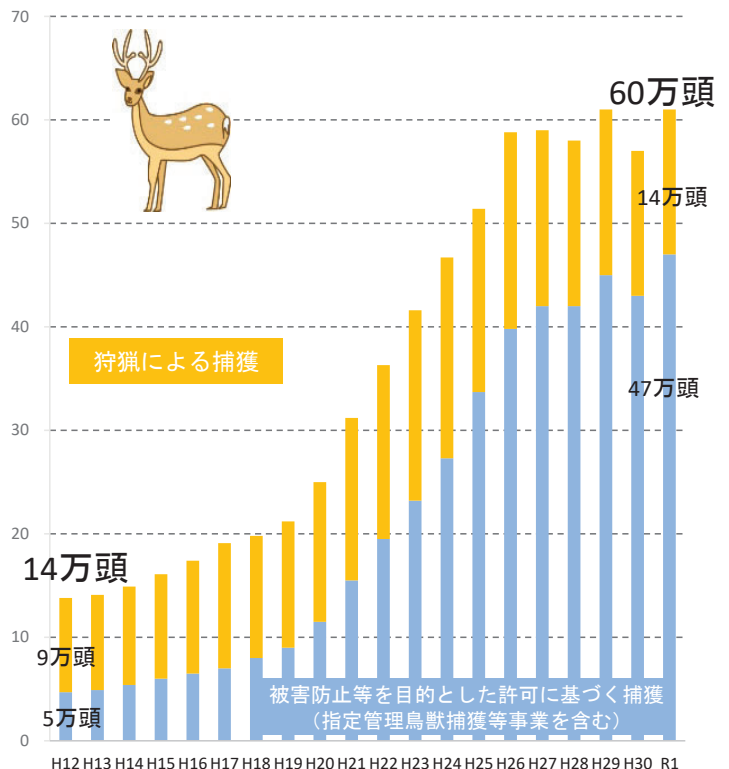
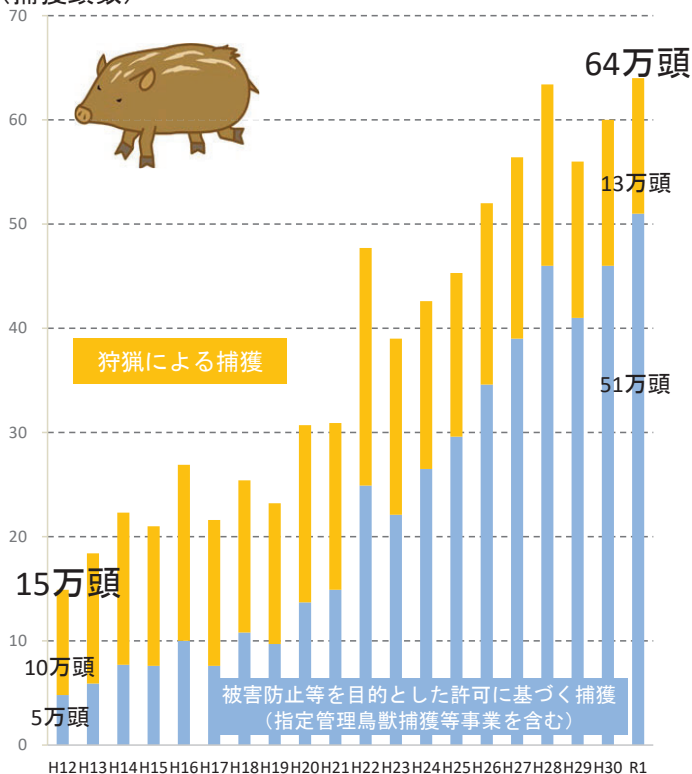


2

イノシシ、シカの捕獲頭数

- 近年では、被害防止等を目的とする捕獲が中心に行われ、イノシシ及びシカの捕獲頭数が大幅に増加。

(捕獲頭数)



※ シカは北海道のエゾシカを含む数値。

※ シカ及びイノシシのR元捕獲数は速報値(令和2年9月10日現在)。捕獲数の訂正等により今後変更があり得る。

(出典)「捕獲数及び被害等の状況等」(環境省)を加工して作成

3